



あなたの一步が地域を変える、佐賀県の取り組み

演者 佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科 安西慶三

佐賀県の糖尿病専門医数は全国で最も少なく、腎臓専門医数も下から2番目です。しかし、糖尿病療養指導士(CDE)は約450名いますので、糖尿病診療にはCDEとの協働が最も重要であり効果的です。CDEの資格取得に際しては、佐賀大学での公開(認定)講座をオンライン同時中継することで、地方でも参加しやすいようにしてきました。

県の事業としては、「佐賀県糖尿病コーディネート看護師育成・支援事業」を行ってきました。県内9つの基幹病院に勤務しているCDEの資格を持つ看護師に、地域で協働して活動するための教育・講義を行い、これを「糖尿病コーディネート看護師」として認定し、かかりつけ医療機関の下に出向いて診療支援を行うというシステムです。糖尿病コーディネート看護師の主な活

動は、かかりつけ医でのサポート——スタッフ向け糖尿病教室、フットケア勉強会、血糖自己測定・インスリン療養支援、糖尿病連携手帳の説明など——をはじめ、地域での啓発活動に及んでいます(図1)。現在、50名の糖尿病コーディネート看護師が活動しており、1基幹病院当たり30~40施設を担当しています。

また、県では特定健診受診者を対象に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、専門医とかかりつけ医、保健師・CDE・糖尿病コーディネート看護師との連携を図っています。さらに県会議、二次医療圏単位会議、基幹病院の現場の連絡会からなる「ストップ糖尿病対策事業」を設立しています。こうした取り組みが実を結び、国民健康保険における保険者努力支援制度(2016年)において、佐賀県は全国

の中で「重症化予防」部門で第1位にランクされました。

糖尿病の重症化予防には、国や行政からCDEの活躍が期待されています。CDEが糖尿病の重症化予防に積極的にに関わり、チーム医療を進めていくことが重要です。地域のCDE(CDEL)の活動の場をさらに生み出していくこと、CDELの認知度向上などの課題はありますが、私達日本糖尿病協会ではCDEネットワークにおいて様々な支援策を提供しています(図2)。患者さん・施設・地域の枠組みを、私達の一步一步の歩みで変えていく。他職種だけでなく同じ職種同士でのスキルアップを施設・地域で行い、それを連携してチームでつないでいく——。CDEの皆さんにはぜひ一歩進めていただき、それを私達が支援していけることを願っています。

図1 糖尿病コーディネート看護師の活動

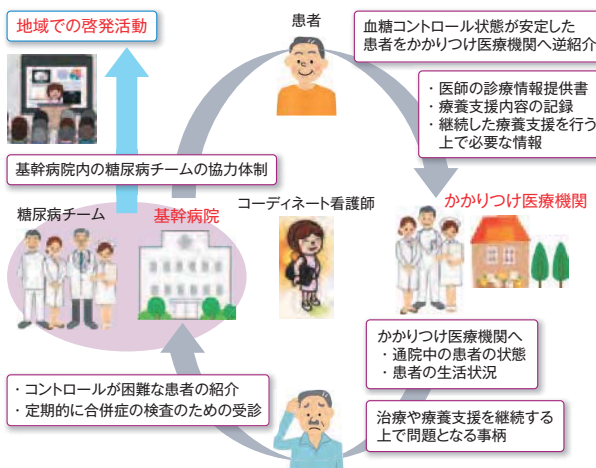


図2 CDEネットワークにおける日本糖尿病協会の支援策

- ◆ CDEL認定団体への活動補助金支出
認定CDELにおける日糖協会員数に応じて、上限100万円の補助
- ◆ CDEL認定団体の規約、試験問題の集約、参考図書の提示
先行するCDEL認定団体(福岡、大阪、福井、西東京)の協力を得て、各団体の過去3年分の試験問題をストック。認定を開始する団体に供与
- ◆ CDEL認定団体への研修資料の提供
糖尿病カンパセーション・マップ、療養指導カードシステム、医療者教育DVD、DM Ensemble

